

学校だより

杉祥ヶ岡



No. 10

発行
今市第三小学校

発行日
H31.3.18

御支援・御協力ありがとうございました

学校長



早いもので、二十二日（金）の修了式をもって、今市第三小学校の平成三十年度の教育活動を終えることとなります。

日々の学校生活の中で、「授業に真剣に取り組む子どもたち。休み時間に友達と仲良く遊んでいる子どもたち。一生懸命清掃している子どもたち。給食を楽しそうに食べる子どもたち。」など、数え切れないほど、子どもたちの頑張っている姿が見られ、一人一人の成長を感じることができました。大変嬉しく思います。これらのことは、子どもたちの頑張りはもちろんのこと、保護者・地域の皆様の支えにより実現できたことです。本当にありがとうございました。心から感謝申し上げます。

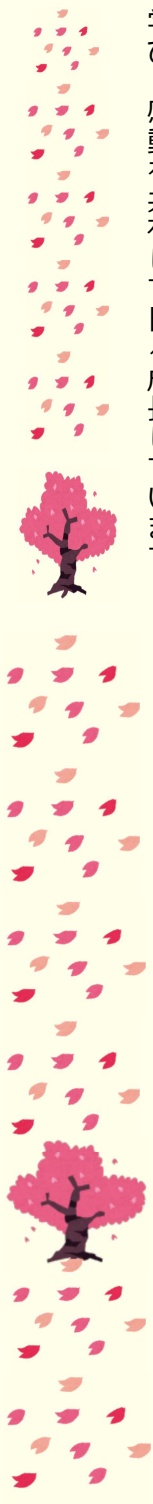
来年度も、学校と保護者・地域の皆様方と連携を深めながら、子どもたちの豊かな成長を目指していきたいと思っております。引き続き御支援・御協力をよろしく願います。

☆☆☆ 感動した長縄跳び大会 受け継がれる伝統 ☆☆☆

二月六日（水）に、児童会主催の長縄跳び大会が開催されました。十年以上前から行われている、今市第三小学校の伝統ある行事の一つです。三学期に練習の割当てが決まると、業間・昼休みには、子どもたちの掛け声が、学校内に響き渡ります。二学期から練習に取り組んでいた学級もあるくらい全校生が盛り上がる行事です。どの学級も、優勝を目指して頑張っています。しかし、順風満帆という訳にはいきません。特に練習始めの頃は、やる気もなく練習に参加しない子がいたり、練習方法に関してめめ事があったりと大変でした。それでも、何度も話し合い、練習を続けることで、徐々に学級がまとまってきました。

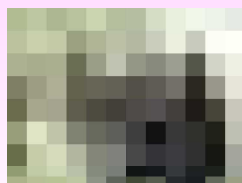
大会当日は、一年と六年、二年と五年、三年と四年が組になって、体育館で行います。学級全員が一丸となって声援を送ります。引つ掛かっても互いに励まし合いながら心を一つに頑張っていました。長縄を回すのにも作戦があるようです。一年生は、縄を二回回す間に一人が跳ぶ作戦で、引つ掛かることなく跳んでいた学級もありました。六年生は、息もつかせぬ速さで跳んでいました。五分間の競技終了時には、達成感や満足感で子どもたちの声が体育館中にこだまします。目標記録に届かず悔し涙を流す子もいました。優勝できなくても、学級の新記録を出して、喜びに目を輝かせている子もいました。その光景を目の当たりにし、胸が熱くなる思いでした。一年から六年への成長の過程が見られました。下級生は上級生の上手な跳び方を見て、目標や憧れをもっていました。逆に、上級生は下級生の様子を見て、自分自身の成長を感じていたようです。

このようにすばらしい行事が、代々引き継がれている今市第三小学校です。子どもたちは、大勢の友達の中で学び、感動を共有して日々成長しています。



学習支援ボランティアの皆様へ

今年度もたくさんの方々の学習支援ボランティアの方々のおかげで、御協力いただきました。「かけ算九九チャレンジ」、「読み聞かせ」、「二単・東帯着付け」など様々な学習を支援していただきました。子どもたちは楽しく、しっかりと学ぶことができました。大変お世話になり、ありがとうございました。



二月二十一日（木）に交通指導員さんをお招きし、感謝の会を行いました。児童会から花束と手紙を、PTAから記念品（PTA会長から）を贈呈しました。指導員の方々からは、交通安全や挨拶の大切さなどについてのお話をいただきました。指導員さんをはじめ、地域の方々にも見守られていることで、子どもたちは毎日安心して登下校することができました。心より感謝申し上げます。



交通指導員さん
感謝の会



- Y・A さん（市役所前）
- E・T さん（千本木）
- T・O さん（千本木）
- S・Y さん（七本桜）

卒業に向けて

一組 H・K

僕がここまでくじけないでこれたのは、お父さんとお母さんと先生のおかげです。いつも僕のことを励ましてくれたので、頑張ろうという気持ちになりました。先生、今までありがとうございます。お母さん、先生、今までありがとうございます。中学校に行ったら、今よりも勉強ができるように、頑張っていきたいです。

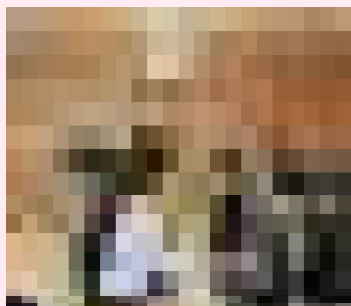
二組 M・H

私が小学校で学んだことはたくさんあります。基本のルールやマナー、人の心、それらは数えきれません。いろいろな先生や地域の方々にお世話になりました。委員会で感謝も伝えました。小学校生活が終わることは、うれしだけれど、悲しい気持ちもあります。だからこそ、皆が思わずなみだを流してしまうような卒業式にしたいです。

三組 N・O

幼い私が母に手を引かれ入学して六年。運動会や修学旅行では友情や協力の大切さを知り、持久走や毎日の学習では、自分に負けない強い精神力を養いました。いよいよ中学生。今まで私を支えてくれた、たくさんの人に感謝し、勇気のつばさを広げて、心を新たに勉強や運動に挑戦していきたいです。ありがとう、私の今三小。

〈六年生を送る会 引継ぎ式〉



～六年生を送る会～

僕が六年生を送る会で一番がんばったことは、会場準備です。会場準備では、紙の花で「ありがとう」という文字を作って、会場で掲示しました。六年生を送る会で学んだことは、学年で協力することです。協力して、初の大きな行事を成功させることができました。

一組 R・S

僕は、六年生を送る会で特にがんばったことが一つあります。それは、ルール説明です。B君と『T・T兄弟』をやりました。初めは、セリフを覚えたりするのが大変で、何回も練習をしました。当日は、六年生に楽しんでくれたので、うれしかったです。

二組 M・O

六年生を送る会で特にうれしかったことは、六年間の思い出をスライドショーにしたことです。理由は、写真に合わせて原稿を読んだときに六年生が楽しそうに笑っていたからです。六年生に感謝の気持ちを伝えられて、よかったです。

三組 A・S

～二分の一成人式～

わたしは二分の一成人式で、お母さんやお父さんへの感謝を伝えるために、群読をがんばりました。一人で言葉にして伝えるのはむずかしいけど、みんなできいっしょに言葉にすることで、いつも伝えられない感謝を伝えられたと思います。

一組 Y・I

私は、この二分の一成人式で、日ごろの感謝を伝えられたと思います。なぜかというところ、群読と歌をがんばったからです。大きな声を出せるようにがんばりました。放送の仕事や自分の夢発表もきんちようしたけれど、がんばれたと思います。

二組 K・S

ぼくは、二分の一成人式で感謝の気持ちを伝えたいと思ってがんばりました。十年間、ぼくを育ててくれたお父さんとお母さんには、感謝の気持ちでいっぱいです。家で手紙をわたすと、とてもよるこんでくれました。これからは、ふだんの生活の中で感謝の気持ちを伝えたいです。

三組 A・T

1 できるようになったこと

テーブルふきがじょうずにになりました。ふきんをしつかりもって、つよくふくように、おとうさんがおしえてくれたからです。これからも、いろいろおしえてもらって、できることをふやしていきたいです。

一くみ R・K

ぼくは、一年生になってから、いろいろなことができるようになりました。たしざんとひきざんはむずかしかったけれど、れんしゅうをしたら、どんどんできるようになりました。二年生になってもがんばりたいです。

二くみ K・H

ぼくは、なわとびの二じゅうとびが、できるようになりました。まえとびをやるときよりも、たかくジャンプしたり、なわをはやくまわしたりしてみたら、できました。れんぞくで十かいとべるようになりたいです。

三くみ H・S

わたしが二年生で楽しかったことは、書しやです。はじめて書しやをやったときは、字がきたなかつたです。でも、書しやをやることで字がきれいになりました。一年生の時は、とくしようをとりました。二年生では金しようをとりました。三年生での習字もがんばりたいです。

一くみ M・S

わたしは、二年生の毎日がとても楽しかったです。とくに思い出にのこっていることは、みんなががんばった長なわとび大会です。友だちと力を合わせて、きよ年よりもとてもよいきろくが出て、うれしかったです。

二くみ Y・Y

わたしの一番の思い出は、遠足で子どもそう合科学かんへ行ったことです。ななめのへやに入ると、何回もころびそうになりました。友だちといっしょに外であそんだり、おべん当を食べたりして、楽しかったです。

三くみ S・Y

僕は、六年生を送る会で名し交かんゲームをして楽しかったです。けれど、六年生がもうすぐそつぎようしてしまうのはかなしいと思いました。今まで六年生にお世話になってきたので、会を開けてうれしかったです。六年生の歌は、とても大きな声でしたので、すごいと思いました。

一組 S・I

僕が六年生を送る会で楽しかったことは、名しこうかんです。どうしてかというところ、名しこうかんをするときに、いろいろな六年生と会えたからです。そして、六年生の思い出が見られたからです。中学校に行っても、がんばってほしいです。

二組 S・H

六年生を送る会で、一年生からのスライドショーを見てかっこいいなと思いました。こんな六年生を見習いたいです。ですから、これからはこまっている人を助けられる人になって、みんなからそんけいされる六年生になれるよう、がんばります。

三組 N・H

3 六年生を送る会

2 二年生の思い出

3

2

1

